

高等教育分野における職業教育の在り方について

資料 9

第7回特別部会(5月12日開催)の議論を中心に

敬称略

高等教育機関における職業教育への要請

- < 求められる能力の質的变化 >
高度経済成長を過ぎて、大してトレーニングせずとも企業が学士をどんどん採用するという時代は終わり、卒業生のクオリティが問われている(木村)
職業的自立に必要な力、労働市場で自分を守るための力が求められている(小杉)
- ・ 終身雇用の崩壊、若年離職率の上昇、OJTの余裕の低下等

変化の激しい労働市場の中で、自立した職業人として生きていく力の育成が求められている。

- < 能力の形成機会の確保 >
生涯学習的な役割を果たす高等教育機関が必要(佐藤)
職業との関連を重視した教育の必要性(吉本)

職業実践的な高等教育を生涯にわたって受けることのできる場を確保することが求められている。

高等教育システムにおける課題

少子化の問題や、企業の国際競争力が問われる中で、卒業生の質の確保が厳しく問われ始めている。こうした中で大学の機能分化が求められている(木村)
大学も専門学校も、何でもカバーしている状態で、機能が混在している(吉本)
大学が、専門学校等で育成できる職種の職業教育を担うことによって自己矛盾に陥っている(川越)

高等教育機関がそれぞれの役割・機能を明確にし、それらに応じて質の確保された人材を育成していくことが求められている。

学術的体系と職業的体系の制度の仕切りをはっきりとする必要(吉本)
大学のくくりの中での機能分化か、それとも別の考え方か(荻上)
職業教育を担う学校について、大学等と同等の社会からの評価が得られるようにする必要(黒田)
専門学校卒業後、具体から入る高等教育を受ける機会を確保する必要(佐藤)

職業実践的な教育を中心として職業人として必要な能力を育成する枠組みを高等教育において整備する必要があるのではないか。

検討の方向性

**各機関の役割の明確化
大学の機能分化促進**

新たな制度的枠組み

社会の変化に応じて学校体系も変わるべき(黒田)
大学を放っておけば機能分化していくかもしれないが、それだけでは我が国の成長戦略としてスピードが間に合わない(木村)

職業訓練施設等も念頭に置いた対応が必要(小杉)